

コンパクトなまちづくり計画



平成 28 年 2 月
東 浦 町

目 次

はじめに

1. 計画の背景・目的 1
2. 計画の位置づけ 2
3. コンパクトシティとは 3

第1章 都市構造の評価

1. 評価の方法 5
2. 公共交通（鉄道・バス） 6
3. 生活利便施設（医療施設、福祉施設、商業施設、公共施設） 15
4. 公園・緑地 38

第2章 まちづくりの課題

1. 課題のまとめ方 43
2. 既存の都市施策からの課題 44
3. 都市構造の評価結果からの課題 45
4. しあわせなまちをデザインするワークショップからの課題 48
5. 課題のまとめ 52

第3章 計画

1. 土地利用 55
2. 道路・交通 64
3. 生活利便施設 75
4. 公園・緑地 84
5. 都市環境・その他 85

第4章 実現に向けた取組み 87

資料編

1. 策定の経緯 91
2. しあわせなまちをデザインするワークショップ 各地区ワークショップ報告書 . . . 92

注) 計画書中の「(都)」は「都市計画道路」の略字表示です。

例: 「都市計画道路衣浦西部線」は「(都) 衣浦西部線」と表示します。

はじめに

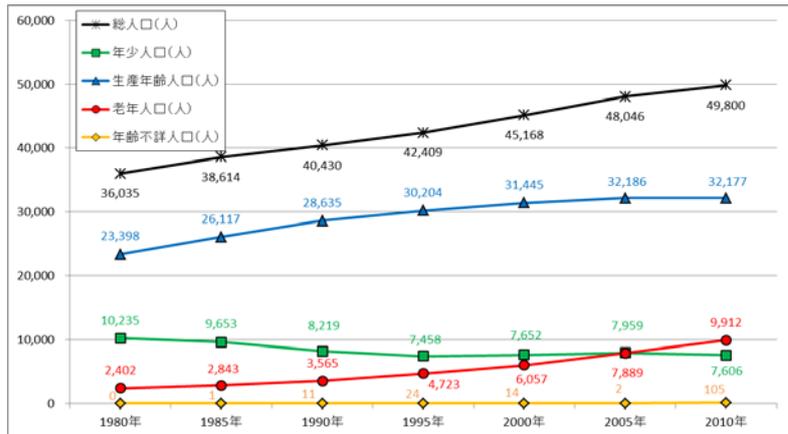
1. 計画の背景・目的

人口の急激な減少と高齢化が進むなか、これからのまちづくりは、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現するとともに、財政面および経済面において持続可能な都市経営を行う必要があります。

つまり、日常生活に必要なまちの機能が住まいの身近なところに集まり、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めていくことが重要となってきます。

この計画は、こうした背景を踏まえ、住民が主体となった「しあわせなまちをデザインするワークショップ」を行って住民の意見を取り入れ、「暮らしている人が暮らし続けたいまち」、「新たに住みたい人が増えるまち」を実現するために策定するものです。

■東浦町の人口の推移（～2010）

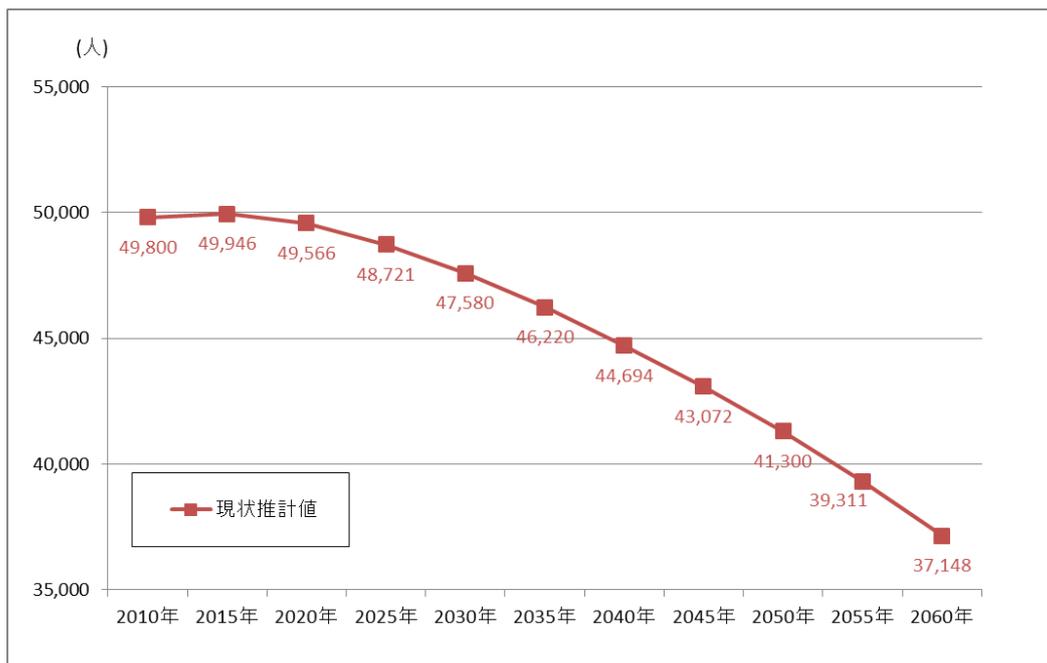


	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
総人口(人)	36,035	38,614	40,430	42,409	45,168	48,046	49,800
年少人口(人)	10,235	9,653	8,219	7,458	7,652	7,959	7,606
生産年齢人口(人)	23,398	26,117	28,635	30,204	31,445	32,186	32,177
老年人口(人)	2,402	2,843	3,565	4,723	6,057	7,889	9,912
年齢不詳人口(人)	0	1	11	24	14	2	105

資料:国勢調査



■東浦町人口の現状推計値（2015～2060年）

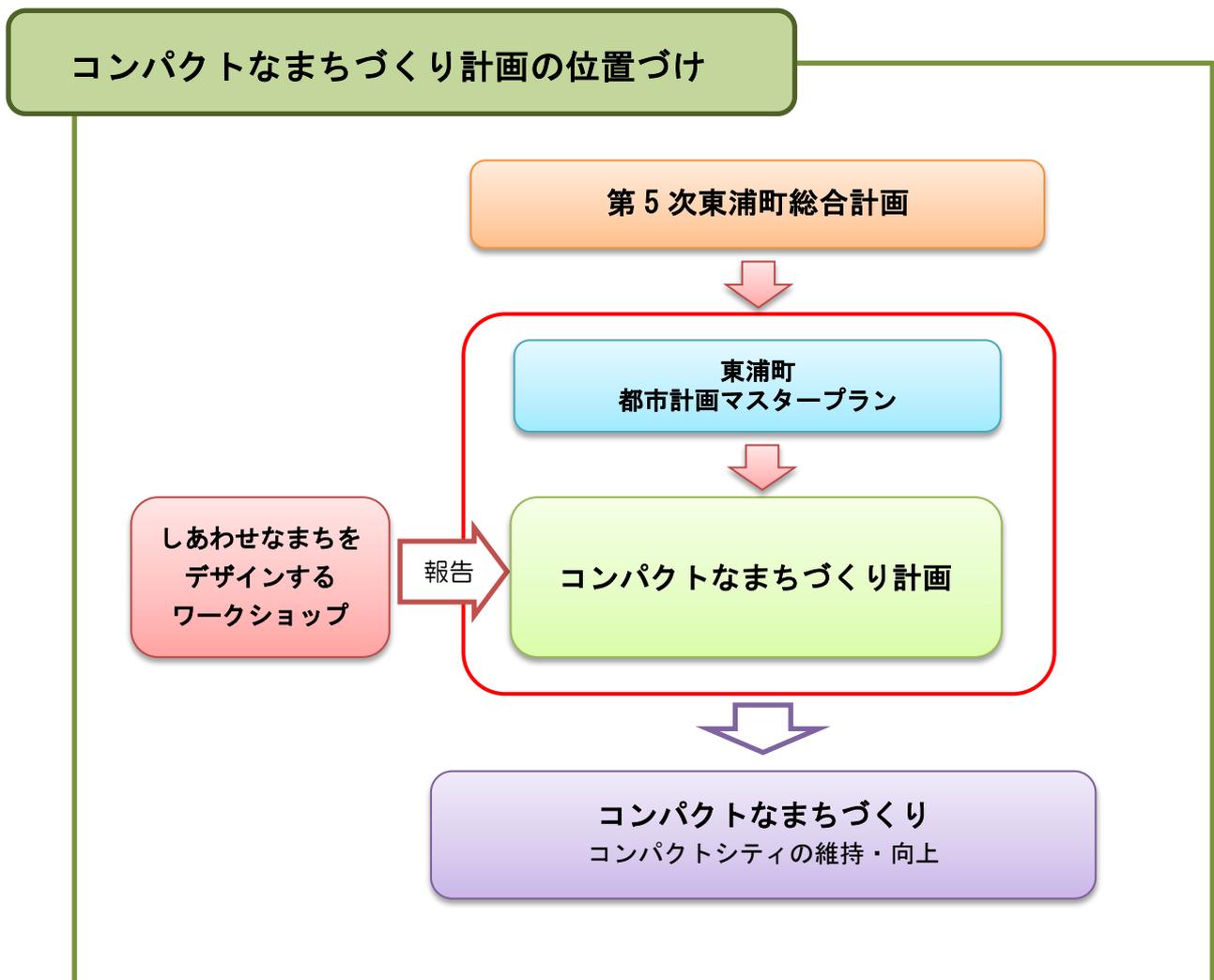


資料:東浦町人口ビジョン

2. 計画の位置づけ

本計画の位置づけとして以下の項目を設定します。

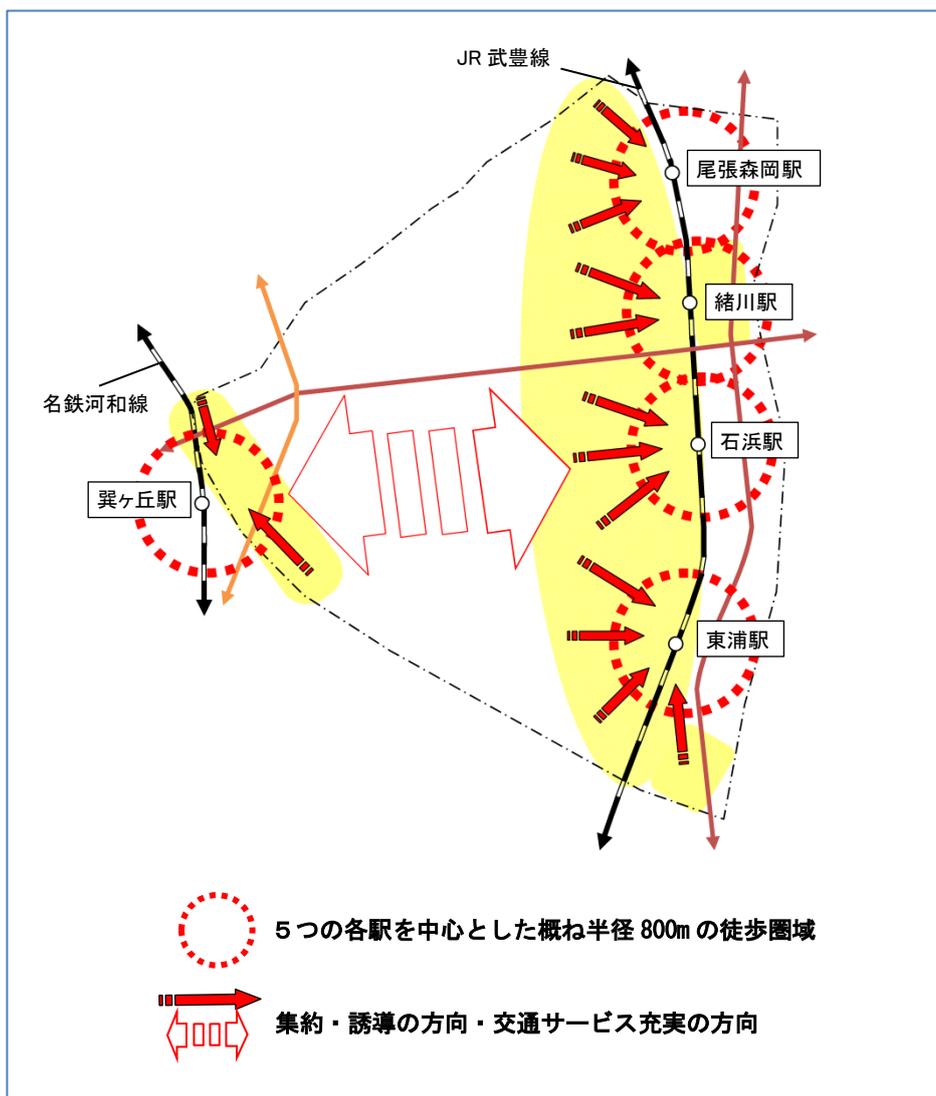
- 住民のニーズとしてワークショップで出た意見や提案を尊重する計画とします。
- まちのめざすべきコンパクトシティの維持・向上のため、具体的な整備内容をまとめた計画とします。ただし、今後それらの整備内容の実施に関しては、計画的に予算要望を行い、実現に向けて進んでいきます。
- 本計画は上位計画である総合計画、都市計画マスタープランを補完し、住民のニーズを取り入れてコンパクトなまちづくりを具体化、実践するものです。



3. コンパクトシティとは

コンパクトシティとは、郊外への市街地の拡大を抑制するとともに、生活に必要な諸機能・施設等が住まいの身近なところにあり、鉄道やバスなどの公共交通が充実しており、それらの都市機能の集積地およびその周辺に人口が集積した、効率的で持続可能な都市（まち）です。

本町では、町内のJR 武豊線各駅と町外の名鉄河和線巽ヶ丘駅の5つの駅が地域の拠点であり、駅の利便性の向上を図ることで利用者の確保・増加を行い、拠点を中心とした区域に生活に必要な諸機能・施設等の集積（コンパクトシティ）を図るとともに、公共交通サービスの確保および利便性の向上（+ネットワーク）により歩いて暮らせるまちづくりをします。



■ コンパクトシティ+ネットワークのイメージ図

